

特集 2010年12月 東北新幹線全線開業 P1~2
 観光コンテンツの紹介・青森県基本計画未来への挑戦 P3
 平成22年度当初予算の概要 P4
 一緒に取り組もう犯罪や交通事故のないまちづくり P5
 青森・ソウル線15周年・情熱青森レポート P6
 イベント特集・申吾のほっとコラム P7
 インフォメーション P8



建設主体の鉄道・運輸機構の皆さん



東北新幹線・八戸ー新青森間
12月の開業に向けて、
ラストスパート!

Q. 「八戸ー新青森間」の工事の現状は?

A. 東北新幹線八戸ー新青森間の工事延長は81.2kmあり、平成10年3月から工事に着手しました。現在の進捗率は、高架橋、トンネルなど新幹線が走る構造物やレールに関しては100%、電車に電気を送る設備もほぼ完成しています。後は、4月から行われる八戸ー新青森間の走行試験で、無事260kmの速度まで達してくれば、ようやく完成といえますね。

Q. 構造物の特徴はどんなところ?

A. 八戸ー新青森間において「カーブが少ない」「高速で走る」など、新幹線にとって最適な環境で最短ルートをつなげた結果、延長81.2kmの間に、19ものトンネルを作ることになりました。中でも、一番特徴的なのは、長さが26.5kmもある「八甲田トンネル」で、陸上における複線断面トンネルとしては世界最長を誇ります。また「三内丸山架道橋」は、国道7号青森環状道路をまたいでいる柱と柱の間隔が150mあり、新幹線の橋の中では日本最長です。

新青森駅の外観は、縄文集落のたたずまいや、青森の明るい未来を象徴し、2階のコンコースには、県産材の青森ヒバや津軽塗りをアクセントとして使用しています。また、七戸十和田駅の外観は、八甲田連峰の山並みと南部馬のやさしい背中を表現し、こちらも

コンコースには青森ヒバや南部製織を使用するなど、どちらも青森県の玄関口としてふさわしいデザインが施されています。

Q. 北国青森での雪害対策は?

A. 現在、上越新幹線では、レールに温水を撒き、雪を溶かす消雪システムが採用されています。八戸ー新青森間では、このシステムを更に発展させ、多めに水を撒くことのできる寒冷地仕様の新しい散水消雪システムを採用しました。このシステムは、積雪が多い、七戸十和田駅側の八甲田トンネル手前から青森市内全域に用いられており、積雪地帯でも安心して新幹線が走ることができそうです。

Q. 開業に向けての心境はいかが?

A. 新幹線が安定して快適に走るためには、最後の走行試験をクリアしなければなりません。そのためには、12月の開業に向け、今後も万全な体制で取り組んでいきます。また、青森県は、八甲田連峰・三内丸山遺跡、龍飛岬など魅力ある観光資源が豊富です。ぜひ、より多くの観光客の方に新幹線で青森に足を運んでいただくとともに、県民の方々にも新幹線を積極的に利用して欲しいと思います。